

2026.6.4 (木)  
第 45 回例会  
(通算3854回)

# 2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛  
副 会 長 池田 一己  
幹 事 横田 英喜  
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度  
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』  
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度  
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ  
第 2500 地区ガバナー  
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 嵯峨記念奨学生新入生報告 / 新入会員歓迎会 (嵯峨記念育英会委員会・親睦活動委員会)

次週例会 クラブアッセンブリー (次年度理事会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想    ■ソングリーダー：吉井 透君
- 会員数    107 名
- ビジター
- ゲスト

## 会長の時間 荒井 剛会長

皆さん、こんばんは。今日はクラブアッセンブリーですので短めの会長あいさつと考えていますが、1 ネットだけお話をさせてください。



皆さんの卓上に『ブラックサンダー』が配布されたと思います。これは私が置いた物で、どうして置いたのかについてお話したいと思います。

今月の『ロータリーの友』の右側からめくると、すぐ記事があるのですが、有楽製菓というブラックサンダーを製造販売しているところの会長さんの記事が載っています。その記事を読んで心打たれたので配布したのです。

どうして打たれたのかというと、皆さんご存知のとおりブラックサンダーはものすごく売れているお菓子です。北海道限定のブラックサンダーを売ったりしているのです。このお菓子が製造されるためには、チョコレートが必要ですね。チョコレートの原料となるカカオは、アフリカの西側の諸国で作られています。ダイヤモンドと同じように、チョコレートの原料となるカカオは、児童が労働力で使われて、すごい搾取がされているのです。こういった問題はどうか前々から思っていたのです。

この記事を読んでもみると、有楽製菓の人たちが現地に

行っているのです。行って、児童が搾取されているのを目の当たりにして、これは良くないと。もともと彼らはお菓子を作って、食べる人たちを笑顔にしたいとして作っていたところ、子供たちが搾取されているのだったらこれは良くない、ということで『スマイルカカオプロジェクト』を立ち上げました。

どういうことかということ、カカオ原料を買うときに、児童問題に対応している、あるいは児童を使ってない所から買おう、と変えてきました。でも、その分、仕入れ価格が少し高くなるのですがそれでも構わないということで、ブラックサンダーの原料となるカカオ 100%をスマイルカカオプロジェクトで達成しようと、2019 年から 2 年ぐらい前に 100%達成することになったと言われています。食べる側だけじゃなくて、作る子供たちの笑顔も見たいということで、スマイルカカオプロジェクトが作られたのです。

どうして配布したのかということ、結局、失敗したのですが、各パッケージの裏に、実は載ってないのですが、パッケージの前に QR コードがあって、「それを読み込むとスマイルカカオプロジェクトのホームページに飛んで行く」というのを見て、これはいいと思って皆さんに 1 個ずつ買おうと思ったのです。トライアルに行って 10 個入りの物を 5 袋買ってきただけですが、10 個入りのパッケージには QR コードが載ってなかったのです。もし、ご興味がある方は、コンビニなどで 1 個買って裏を見るとロゴがあります。カカオがあって、カカオを子供が 2 人で挟んでいるのです。この 2 人が笑顔になっているロゴがあ

ります。ぜひそれを見ていただきたいなと思って、そういう思いを込めて配布させていただきました。これで会長あいさつは終わらせていただきます。よろしくをお願いします。

## 幹事報告 横田 英喜幹事

幹事報告をさせていただきます。6月に入りましたので、ロータリーレートが変わりました。1ドル159円になっております。

次は、先日、事務局からガバナー月信を配信させていただきました。6月1日号ということで、うちのクラブの地区補助金事業について報告させていただきましたので、ご覧いただければと思います。

### ■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

## 工藤 彦夫会長エレクト



次年度会長を仰せつかりました工藤です。それでは、クラブアッセンブリーを始めたいと思います。最初に、次年度三役と副幹

事を紹介させていただきます。

以後は予定者という文言は省略させていただきます。

それでは、副会長・市橋多佳丞君、幹事・八幡好洋君、副幹事・渡部哲大君、同じく副幹事・倉見悠介君、以上5名でなんとか1年間やっていきたいと思っております。皆さんよろしくお願ひいたします。(拍手)ありがとうございます。

それでは今日の流れとしては、まず私の会長基本方針を説明した後、八幡幹事よりクラブの概況および会務、続いてクラブ運営委員会・村上君から始まって、最後S A Aの滝越さんまで行った後に、次年度の予算を説明して、最後に一括で質疑を受けたいと思っております。

まず、私の会長基本方針を発表させていただきます。スローガンとしては『志を継ぎ未来を拓く90年、先人の情熱を胸に、新たな一歩を』ということです。

1936年11月23日に釧路クラブが誕生いたしました。90年という歳月はただ長いだけでなく、世界大戦や社会変動、感染症流行など幾度も試練を乗り越えてきた歴史そのものです。1940年に国際ロータリーを脱退した後も、木曜クラブや釧路食育懇談会と名を変えながらも、戦後はいち早く活動を再開した先人たちの情熱は今も私たちのクラブのDNAとして息づいていると思っております。

また、この中においても、釧路ロータリークラブは顔

を合わせる例会を重んじ、それを単なる形式だけではなく、人と人の向き合うことでしか生まれないロータリーの価値を守り抜いた行動だと思っております。

次のロータリーの基本。これは僕が考えた文章ではなくて、50年ぐらい前に見つけて、よくあるロータリーの文言ですけど、「入りて学び 出でて奉仕せよ」とか、いろいろあるんですけども、その中でも僕はこれが好きで、読ませていただきます。

「出会いの場に触れて、つながりの中で友を得て、つながりの中で自己を磨き、つながりの中で奉仕の喜びを知り、そのつながりの中でフェロウシップと奉仕を学ぶ、というのが人間的成長と奉仕の循環であります」という言葉なのです。僕は本当にこれが好きで、釧路ロータリーは、これを守りながら今までやってきたのかなと感じる大好きな言葉です。それでここに記載させていただきました。

国際ロータリーの会長ババララ氏のテーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」と書いていますけど、この本文は、7月以降に出るもので詳しく説明してありますので、それは皆さんで読んでいただきたいと思っております。

同じく山本ガバナーの「親睦から始まる持続可能な奉仕を」という方針も同じく詳しく書いておりますので、ご一読いただければなと思っております。

90年を迎えた今こそ、私たちは次の10年を進化の10年と位置づけ、100周年に向けた確かな礎を築かなければなりません。ということで、特に若い世代に選ばれるクラブと進化し、地域に必要とされ続ける存在でありたいと願っております。どうか1年間ご支援とご協力をお願いします。と書いております。お願いいたします。

次のクラブ重点活動目標です。一番としては、創立90周年の事業・式典・懇親会の実施です。これは、10月3日に行うことが決定しております。

2番目、会員の増強ということで、今までずっと会員の増強をしながらも、なかなか110名を超えなかったのは何が原因かということいろいろ僕なりに考えた中で、次の活動目標の中で一番としては、会員増強の継続性の強化とスポンサーシップの充実ということで、特に、せっかくリストが集まってきても、そのリストは単年度でそんなに増えるものではないのです。それを次年度に引き継いでやっていこうというのが基本的にあります。今年も既に2月に今年度の会員増強のメンバーと僕たちの会員増強のメンバーが合いまして、どうしようとやっております。その中で会員増強はすぐにはできるものでないからリストアップしながら、それを誰がやりながら、誰が責任持ちながら、呼んで来るのかをやっております。

あともうひとつは、スポンサーシップの充実です。何を書いているのかというと、新入会員にはスポンサー

が2名つきます。失礼な言い方かもしれませんが、スポンサーがきちっと新入会員をフォローするような形でやっているのかがあって、今まではどこかの企業の人が入ったら、誰かがそれなりの人がやっていたのだけど、それにしても面倒を見ていないのではないかというのがあると思うのです。

新入会員というのは不安がいっぱいで、僕もそうでした。スポンサーは梁瀬君ともう1人はどなただったかも忘れたのだけど、梁瀬君はちゃんとやってくれたので僕は長くいられたと思うのです。そこを充実しながら、スポンサーシップは、「こういう人だったら、この人を」というのはなくなるかもわかりませんが、今年度の会員は109人になったのです。出席を見ると出席率大体50%なのです。1回も来てない人が24名ぐらいいるのです。「0」という人にはロータリーの良さを教えてあげるのが僕らの仕事なので、そこに少しずつ手をかけながら、少しでも出席率を上げていきたいのがある、一番目を書きました。

2番目は嵯峨久像の清掃活動です。これは日程が決まっています、8月6日にやるのです。僕は仕事柄、まなぼつとの所を通るのですが、嵯峨育英会はすごい事業をやっている割には、あの銅像の周りがすごく汚いのです。それ何とかしたいなと前から思っていたのですが、それを嵯峨の奨学生にやらせることも僕は重要だと思うのです。僕らもやるけども嵯峨の奨学生に、ただお金をもらうだけではなくて、ボランティアの心を養うのも僕らの使命だと思って、8月6日のことを1年生にはこの前、案内しています。あとは、2年目、3年目の人にも案内しながら周りを綺麗にしておうとしています。

今までは、最初の挨拶と最後の卒業式の挨拶しかなかったのが、8月6日の例会日ですが、清掃の後に例会に来てもらって、もう少し僕らと近い格好にしたいというのもあったので、それをやりたいということで2番目を書きました。

3番目、これも決まっています。10年前の80周年の時、台湾の小学生が来たのです。「国楽」という古い楽器をやる方たちで、大変素晴らしいのです。今年で10年が経つのもう1回聞きたいということでいろいろ検討した結果、7月の17・18日に来ることになりました。17日には鳥取小学校と交流して、18日にはコンサートをやります。ぜひとも皆さんも見に来ていただきたいというのがあります。

4番目です。台北中央ロータリーとは、5年ごとの更新なのです。杉村宗平君の時、85年の時に更新しています。これにはルールがあって、4か月前までに向こうに言わないと駄目ですから、今年度の理事会で更新することが決められたので、そのとおりに更新して姉妹提携を継続することになっております。

5番目、地区補助金を利用した青少年活動の充実です。

1月の中旬ころに「釧路の自然を守る」を題材にしながら小学生と事業を行います。

6番目、ロータリーカップの会員参加の増強です。何を言いたいかというと、継続すると僕らは決めたのです。決めたら、少しでも見に行ってもらわないと。僕は毎回行くのですが、そうすると、三役と青少年の人が来て5～6人。多いときは10人ぐらいなのです。子供たちを応援するという立場で、昔は観戦例会とかやっていたけども、今はやっていません。これも、日程が急遽決まって7月24日から26日です。その詳細は後で流しますけども、ぜひとも多くのメンバーが参加して応援していただきたいのです。今、メンバーも本当少ないのですよ。いろんな合同チームでやるしかならないですけども、そこに参加していただければなと思っています。

同じく、中学親善硬式野球大会ですけど、これは尾越年度から始まって、いまは分区事業になっているのです。これも8月2～3日で行いますから、これにもぜひ応援に来て、これだけロータリーが応援していることを子供たちに見せつけたい。僕らの役目は何かということになるので、ぜひとも多く来ていただきたいのです。

最後、書いていないのですけども。今まで例会案内は例会のことしか書いていないのですけども、下のほうに事業を記載しようと思っています。そうすると、思い出していただいて。その他にも案内は出しますが、そういうことをしながら事業にも参加していただきたいというのが願いで、こういうふうにいたします。

私からの説明は以上です。

続きましては八幡幹事から状況と会務報告お願いいたします。

#### クラブ概況及び会務方針 八幡 好洋次年度幹事

それでは、クラブ概況および会務報告を幹事の八幡から説明させていただきます。

こちらは資料に6月1日現在とありますが、資料作成は5月段階になりますので、数字は最新の数値で訂正させていただきますと思います。

会員数が現在107名となっております。退会が2名いらっしゃって入会が3名、合計プラス1の107名となっております。

2番、会員の年齢です。会員の平均年齢が61.25歳となっております。最年長が83歳。最年少に関しては資料に不備があったようで38歳が最年少となっております。年齢分布です。20代が0。30代は0ですが実際には1でした。40代は13から正しくは10です。50代が34。60代が41。70代が16。80代が5となっております。合計107名となります。

3番、クラブの在籍会員数の分布です。1年末満が

3名増えて10名となっております。4年未満が2人減って5名となっております。平均在籍は13.92となっております。

4番、5番、6番に関しては例年どおりとなっております。

クラブ協議会に関して。クラブ協議会は第1回が6月4日、これが本日となります。第2回が来週6月11日にガバナー補佐によるクラブ協議会が行われます。第3回は来年1月14日、第4回は来年の6月17日を予定しております。

8番、総会に関しては、本年2026年の12月3日に年次総会予定をしております。

9番、10番、11番は記載のとおりです。

12番、例会に関して。本年の年末クリスマス家族会は2026年12月10日木曜日を予定しております。新年交礼会に関しましては、2027年の1月7日を予定しています。最終例会、いわゆるキャンドルパーティーは来年27年の6月24日を予定しております。13番その他。その他に関しましては、先ほどの会長の重点活動目標や活動目標から反映をさせていただいております。

以上です。

各委員会の発表および予算につきましては2026-2027年度 釧路ロータリークラブ活動計画書をご一読下さい

### 質疑応答

1. 大委員長に「大・副」を置かない理由

質問者：西村智久君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

今年はIM・90周年など行事が多く、会員数減少により負担軽減が必要。

「大・副」を置くと能力者に負担が集中するため、今回は設置しない判断。

理事が大委員長を兼務する覚悟がある。

2. 年次総会の日付誤記について

質問者：松井聖治君

回答者：八幡好洋 幹事

プログラムの「12月3日休会」は誤記。

12月3日に年次総会を開催するよう修正する。

3. 委員会予算の増減について

質問者：松井聖治君

回答者：八幡好洋 幹事

会員増強委員会：強化のため予算増額。

社会奉仕委員会（下期）：地区補助金事業（冬のカヌー体験等）を計上したため金額が大きい。

4. クラブの魅力とは何か

質問者：藤原工君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

内部的魅力：出席したくなる例会、親睦活動、参加して自分のためになる場。

外部的魅力：台北の子どもとの交流事業など、積極的な奉仕活動によるイメージ向上。

5. 会費表記の妥当性について

質問者：吉田潤司君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

実際の年間会費は29万800円。

活動計画書の「会費16万円」は例会費のみを指しており、表記の適切性は再検討する。

6. 90周年記念式典の参加費について

質問者：吉田潤司君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

参加費は1万3000円（別途請求）。

他クラブの相場（1.5～2万円）を踏まえ、参加しやすさと内容の質のバランスを考慮した設定。

7. クラブ資料の保存・資料室の必要性

質問者：吉田潤司君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

歴史資料が増加しており、将来の記念誌作成にも重要。

資料室整備について理事会で検討する。

8. ガバナー輩出に向けた研修の必要性

質問者：小船井修一君

回答者：工藤彦夫 会長エレクト

2年後にガバナーを輩出するため、多くの会員が事務局等に関わることになる。

地区・RIに関する知識を深める研修の必要性を指摘。

会長エレクトより「貴重な意見として受け止める」と

その他、ご意見ございますか。意見もないようです。今回、いろいろ貴重なご意見いただきましたので全て大切な意見なので理事会に持って帰って良い判断をしながら、皆さんにご報告をしたいと思えます。

以上をもちましてクラブアセンブリを終了いたします。

今年度三役にマイクをお返しいたします。



### 本日のニコニコ献金

■荒井 剛君 一年まえのクラブアッセンブリーを昨日の事のように思い出します。皆様に感謝・

今年度累計 445,420 円